

サークルスクエア～進捗報告と運営委員会での活用～

竹内 純一

1. 【協議事項】運営委員会業務のサークルスクエア活用提案

サークルスクエアには様々な機能があるが、運営委員会業務に活用できそうな機能を検討した。具体化した場合、以下のメリットがある。協議の上、検討いただきたい。

- ① いつでも、どこでも、簡単に書類や情報にアクセスできる。
- ② セキュリティが高く、外部への情報漏れが起こりにくい。
- ③ 業務の一元化と標準化が達成される。個々のスキルや保有するアプリに左右されない。
- ④ 運営委員の業務負担軽減。担当の交替や引き継ぎに寄与する。

提案は、①書類の保管、②グループメール（メーリングリスト）、③会員名簿、④総会の出欠と議決権行使、⑤会計、の5つ。

なお、会計機能を除き、非Eメール会員以外の全員がメンバー登録を済ませていることが前提条件となる。

(1) 議事録など、書類の保管にサークルスクエアを利用する。★はサークルスクエアだけの機能

- セキュリティが強化される。現在はHPに掲載しているが、pdf文書へのリンクページにパスワード設定しているだけなので、検索すると誰もがアップロードした文書（議事録など）を読むことができる。★
- 現在は文書名が英数文字に限定されているが、日本語ファイル名のまま掲載できるのでわかりやすい。★
- 議事録・会則など運営委員会が発行する文書から切り替え、将来は地域じゃおに拡大する。
- 【課題】自動的には開かず、一旦、ダウンロードされる。

⇒課題はあるが、セキュリティ強化が必要なので、サークルスクエアへ移行する方向で考える。具体策はHPサークルに委ねる。

(2) Googlegroups に代えてサークルスクエアのメール機能を利用する。

- 会員管理担当者はGooglegroupsを管理する必要がなくなる。（事務負担の軽減）
- 「全員への返信」と「発信者への返信」をメールごとに切り替え可能。★
- メールごとに、全会員、地域ごと（複数地域も可）、活動ごと、個人ごとの切り替えができる。しかも操作は選択ボタンを押すだけ。★
- 期日指定配信が可能。★
- テンプレートの利用。★
- 送信履歴が残る。最大500通、1年。
- メールの不達があった場合、受信側、送信側共に警告が表示される。
- 当面の利用例：運営委員会メール、HPサークルメール、じゃおニュース発行メール。

⇒利便性が増すと思われるので、サークルスクエアへ移行する方向で考える。具体策はHPサークルに委ねる。

(3) 会員名簿の管理にサークルスクエアを利用しては？

- 目的は地域や本部の会員管理担当者の負担軽減。
 - Excel による管理は行わず、サークルスクエアに一本化すれば、Excel のスキルが不要になる。Excel のように縮小で見なくても良いので操作しやすい。★
 - 会員（または地域担当者）に入力してもらうことができる。★
 - 総会時の「会員名簿」の配布を廃止できる。（個々の会員はサークルスクエアで閲覧する。ただし、非 E メール会員の扱いは要検討。）★
- 会員は会員名簿を閲覧できる。ただし、一部の項目は閲覧できないようにできる。★
- 一部の情報を「管理者のみ公開」に設定できる。（例えば、生年と誕生日）★
- サークルスクエアがサポートする項目
 - 氏名、ふりがな、メールアドレス、予備メールアドレス、郵便番号と住所、固定電話、携帯、生年、誕生日（本人に入力してもらえばより正確になる項目も多い。）
- CSV 形式でダウンロードできるので Excel 連携が可能。（ダウンロード権限は管理者のみ）
- 【課題】①非 E メール会員の登録、②現在のデータの移転

⇒利便性が増すと思われるので、サークルスクエアへ移行する方向で考える。具体策は HP サークルに委ねる。

(4) 総会の出欠と議決権行使にサークルスクエアを利用する。

- 現在は GoogleForm を利用しているが、サークルスクエアに切り替えると次のメリットがある。
 - 氏名と所属を入力する必要がない。★
 - （ファイル機能）を利用して議案書を配布できる。
 - （掲示板機能）を利用して告知する。
 - 管理者は出欠と議決権行使の進行状況をリアルタイムで確認できる。★
 - 管理者は誰が未回答かがリアルタイムに分かる。★
 - 【課題】複数の質問が別々に分かれる。他の会員の回答結果を見ることができる。

⇒課題が大きいので、従来通り Google Forms を利用する。

(5) 会計機能の活用

- 会計機能があるので、今後、利用できるかどうか検討の余地あり。

⇒以前より事務負担は軽減されており、従来通り Excel を利用した管理で問題ない。

2. 【報告事項】地域ごとのメンバー登録状況（9月21日現在）

地域	登録済	非 E メール会員	会員数	登録済% (全体)	登録済% (非 E メール会員除く)
湘南	33	1	42	79%	80%
県央	19	4	30	63%	73%
ベイサイド	20	3	31	65%	71%
多摩・田園	25	5	31	81%	96%
全体	97	13	134	72%	80%

- 8月18日以降の変化は、湘南+1、ベイサイド+3。県央と多摩・田園は変化なし。
- 多摩・田園と湘南は一部の活動において実用可能になりつつある。
 - 活動リーダーが積極的な行事・活動では、メンバー登録が進んでいる。
 - 個別の会員に寄り添ったサポートが必要と思われる。
- ベイサイドは9月5日に説明会を実施した。
- スケジュール表はカレンダー形式でpdf配布または印刷配布する方法が見つかった。
 - 切り替え時点でアプリが導入出来ない会員への対応策。
 - 印刷枚数が減る、編集も不要となるので、地域と本部の事務が削減される。